

## 感染対策(『vol.2』p.552~p.575)

該当ページ	変更前	変更後
診②p.553	「標準予防策(スタンダードコンプリケーション)」の表内 ●手袋や、必要に応じてプラスチックガウン(エプロン)、マスク、ゴーグルの <b>着用</b>	●手袋や、必要に応じてプラスチックガウン(エプロン)、マスク、ゴーグルの <b>装着</b>
診②p.553	「感染経路別予防策」表内「予防策」 ●手袋、プラスチックガウン(エプロン)の <b>着用</b>	●手袋、プラスチックガウン(エプロン)の <b>装着</b>
診②p.553	「感染経路別予防策」表内「予防策」 ●移動時はサージカルマスク <b>着用</b>	●移動時はサージカルマスク <b>装着</b>
診②p.553	「感染経路別予防策」表内「予防策」 ●サージカルマスク <b>着用</b>	●サージカルマスク <b>装着</b>
診②p.553	「感染経路別予防策」表内「予防策」 ●N95マスク <b>着用</b>	●N95マスク <b>装着</b>
診②p.556	タイトル「擦式アルコール手指消毒薬による手指消毒」	擦式アルコール手指消毒薬 <b>など(以下、消毒薬)</b> による手指消毒
診②p.556	タイトル横説明文 ●手指に目に見える汚れがないときは、擦式アルコール手指消毒薬(以下、消毒薬)による手指消毒を行う。	●手指に目に見える汚れがないときは、擦式アルコール手指消毒薬 <b>など(以下、消毒薬)</b> による手指消毒を行う。
診②p.556	同上「● <b>20</b> ~30秒程度を費やして十分に擦り込む」	● <b>15</b> ~30秒程度を費やして十分にすりこむ。
診②p.557	タイトル横説明文(2つ目) ●洗い始めから1分間程度を費やして丁寧に洗う。	●洗い始めから <b>30秒</b> ~1分間程度を費やして丁寧に洗う。
診②p.557	⑥説明文 ● <b>手関節の周囲まで洗い残しがないことを確認する。</b>	●洗う範囲は <b>手関節の周囲までとする。</b>
診②p.557	⑧説明文 ●ペーパータオルを使うなどして、 <b>蛇口</b> に直接手を触れないようにして水を止める。	●ペーパータオルを使うなどして、 <b>止水栓</b> に直接手を触れないようにして水を止める。
診②p.558	タイトル「个人防护具(PPE)の <b>着用</b> 」	个人防护具(PPE)の <b>装着</b>
診②p.558	「手順」内の項目名「PPEの <b>着用</b> 」	PPEの <b>装着</b>

診②p.558	「手順」の「PPEの着用」内の説明文 ②ガウン(エプロン)→マスクと帽子→アイプロテクション →手袋の順に適切に <b>着用</b> する。	②ガウン(エプロン)→マスクと帽子→アイプロテクション→手袋の順に適切に <b>装着</b> する。
診②p.558	イラスト内「アイプロテクション(ゴーグルなど)」の説明 ●血液などの体液の飛沫から、皮膚や衣服を保護するために <b>着用</b> する。	●血液などの体液の飛沫から、皮膚や衣服を保護するために <b>装着</b> する。
診②p.559	「Comment」に追記	●使用後の <b>PPE</b> の表面は汚染されているものとして、表面に触れないよう注意する。
診②p.559	同上	● <b>PPE</b> を廃棄する際は、感染性廃棄物のゴミ箱からはみ出さないよう、適切に廃棄する。(注)感染性廃棄物がゴミ箱からはみ出した場合は、手袋を装着して専用のゴミばさみを用いてゴミ箱内に廃棄する(スタッフに依頼してもよい)。
診②p.559	①内の説明文 ●袖をまくり、前腕を十分に露出する。	●袖が邪魔にならないように、前腕を十分に露出する。
診②p.559	②の①内の説明文 ●擦式アルコール手指消毒薬による手指消毒、または石けんと流水による手洗いをを行う[p.554]。	●消毒薬による手指消毒、または石けんと流水による手洗いをを行う[p.554]。
診②p.559	②の②内の説明文 ●ガウンを広げ、首の部分を持ってかぶる。	●ガウン・エプロンを、患者に接する部分は触れないように、身体の前方で広げ、首からかぶる、または首ひもを結ぶ。
診②p.559	同上 ●腕を袖に通し、体幹を覆う。	●腕を袖に通し、ガウン・エプロンの裾がまくれ上がらないように、装着する。
診②p.559	同上 ●腰ひもを後ろで結ぶ。	●腰ひもを適切に結ぶ。
診②p.559	同上 ●患者に接する部分には触れないように裾を広げる。	削除
診②p.559	②の③内の説明文 ●口、鼻、顎、頭髪を完全に覆う。	削除(下に追加する新規事項にてより詳細に解説するため)
診②p.559	②の③内の説明文として追記	●サージカルマスクを口・鼻・顎を完全に覆うように装着する。 ●サージカルマスクのノーズワイヤを顔の形に押し当て、隙間なくフィットさせる。 ●頭髪、鼻・口・顎が確実に覆われていることを鏡で確認する。

診②p.559	③の①内の説明文 ●左右の手袋をひとまとめにして[p.575], 感染性廃棄物として廃棄する.	●外した手袋を感染性廃棄物として廃棄する. (注)丸めて保持している側の手袋を外して, 2枚の手袋をひとかたまりとし, 感染性廃棄物として廃棄する方法もある.
診②p.559	③「脱衣のながれ」の手順の順番変更 ②帽子を脱ぐ. →③アイプロテクションを外す. →④ガウンを脱ぐ.	②ガウンを脱ぐ. →③アイプロテクションを外す. →④帽子を脱ぐ.
診②p.559	③の「②帽子を脱ぐ」下の説明に追記	※廃棄する際には, 感染性廃棄物用ゴミ箱内に直接手を入れないようにする.
診②p.559	③の③内の説明文「●前面に触れないように, 耳に当たる部分のつる(ヘッドバンド)を持って外す.」の下に追記	●外した後は消毒薬による手指消毒を行う.
診②p.559	Commentとして新たに追記	●それぞれの防護具を外した後や, PPEに手が触れて不潔になった場合など, 脱衣の途中にも手指消毒[p.554]を都度行う.
診②p.560	「清潔操作における準備のながれ」の表内項目名 滅菌ガウンの着用	滅菌ガウンの装着
診②p.560	「清潔操作における準備のながれ」の表内説明文 ●必要に応じて, 滅菌ガウンを着用する[p.567].	●必要に応じて, 滅菌ガウンを装着する[p.567].
診②p.560	同上 ●滅菌ガウンの着用途中または着用後に, 滅菌手袋を装着する[p.572].	●滅菌ガウンの装着途中または装着後に, 滅菌手袋を装着する[p.572].
診②p.561	項目名「*皮膚消毒の手順とポイント」	皮膚消毒の手順とポイント
診②p.561	「皮膚消毒の手順とポイント」内の説明文として追記	●事前に消毒範囲の皮膚の観察(発赤・腫脹・滲出液など)を行う. ●消毒薬に対する過敏性を尋ねる. ●手術・処置などを行う部位に対して消毒する範囲を決める.
診②p.561	「皮膚消毒の手順とポイント」の表内①の説明文 ●滅菌した鑷子または鉗子を用い, 皮膚消毒薬(7.5%ポピドンヨードなど)を十分に含んだ綿球などを容器から取り出す.	滅菌した鑷子または鉗子を用い, 皮膚消毒薬(7.5%ポピドンヨードなど)を十分に含んだ綿球などを容器から適切に取り出す.
診②p.561	「皮膚消毒の手順とポイント」の表内②の説明文 ●消毒薬が完全に乾燥するまで待ち, 穴あきの滅菌シートで処置を行う部位の周囲を覆う.	●消毒薬が完全に乾燥するまで待ち, 穴あきの滅菌シート・皮膚ドレッシング材などで処置を行う部位の周囲を覆う.

診②p.562	「手順」の「②手洗い用消毒液で～」下の説明文 1文目として追記	※手洗い石鹸で手洗いを行うこともある。
診②p.562	「手順」の⑤の説明文 ⑤擦式アルコール手指消毒薬を指先から手首 まですりこむ。	⑤消毒薬を指先から手首まですりこむ。
診②p.562	「清潔度と洗淨する方向」内の「洗淨する順番」 説明文 ●手指→前腕→肘の順番で洗淨し、消毒薬や 流水を常に <b>中枢側</b> に流す。	●手指→前腕→肘の順番で洗淨し、消毒薬や流 水を常に <b>両肘側</b> に流す。
診②p.564	①の説明文 ●手術用帽子を、頭髪を <b>完全</b> に覆うように着用 する。	●手術用帽子を、頭髪を <b>確実</b> に覆うように着用 する。
診②p.564	同上 ●手術用マスクを、ノーズワイヤー <b>部分が鼻筋</b> <b>に密着し</b> 、口・鼻・顎を <b>完全</b> に覆うように装着す る。	●手術用マスクを、ノーズワイヤーを <b>顔の形に押</b> <b>し当て隙間なくフィットさせ</b> 、口・鼻・顎を <b>確実</b> に 覆うように装着する。
診②p.564	③の説明文「●手洗い用消毒液を用いて～」の 注として追記	※手洗い石鹸で手洗いを行うこともある。
診②p.564	④の説明文 ●手指→前腕→肘の順番で消毒薬を洗い流す。	●流水で消毒薬が <b>両肘側へ流れるように</b> 手指→ 前腕→肘の順番で洗い流す。
診②p.566	⑧の項目名 ⑧擦式アルコール手指消毒薬のすりこみ	⑧消毒薬のすりこみ
診②p.566	⑧の説明文 ●擦式アルコール手指消毒薬を指先から手首ま ですりこむ。	●消毒薬を指先から手首まですりこむ。
診②p.567	タイトル「滅菌ガウンの <b>着用</b> 」	滅菌ガウンの <b>装着</b>
診②p.567	「手順」の⑨の説明文 ⑨滅菌ガウン <b>着用後</b> は、周囲の物品に触れな いように清潔を保持する。	⑨滅菌ガウン <b>装着中・装着後</b> は、周囲の物品に 触れないように清潔を保持する。
診②p.567	「補足」内の説明文 ●身だしなみを整え、清潔操作の内容に応じて 手術時手洗い[p.562]または衛生的手洗い[ p.554]を行ったうえで、滅菌ガウンを <b>装着</b> する。	●身だしなみを整え、清潔操作の内容に応じて 手術時手洗い[p.562]または衛生的手洗い[ p.554]を行ったうえで、滅菌ガウンを <b>装着</b> する。
診②p.567	同上 ●マスク・帽子は滅菌状態ではないため、滅菌ガ ウン・滅菌手袋の <b>着用後</b> は触れないように注意 する。	●マスク・帽子は滅菌状態ではないため、滅菌ガ ウン・滅菌手袋の <b>装着後</b> は触れないように注意 する。

診②p.568	<p>「滅菌ガウンの清潔野と不潔野」内のタイトル横説明文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●滅菌ガウンは、着用者の身体に直接触れる裏面が外側となるように折りたたまれて包装されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●滅菌ガウンは、着用者の身体に直接触れる裏面が外側となるように折りたたまれて包装されている。</li> </ul>
診②p.568	<p>同上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●滅菌ガウンの着用時には、ガウンの表面を最も清潔に保てるよう、清潔野(ガウン表面)と不潔野(ガウン裏面や包装紙など)を明確に区別する*。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●滅菌ガウンの装着時には、ガウンの表面を最も清潔に保てるよう、清潔野(ガウン表面)と不潔野(ガウン裏面や包装紙など)を明確に区別する*。</li> </ul>
診②p.568	<p>「滅菌ガウンの清潔野と不潔野」のイラスト内項目名</p> <p>着用者が介助者から滅菌ガウンを受け取る</p>	<p>装着者が介助者から滅菌ガウンを受け取る</p>
診②p.568	<p>同上</p> <p>着用者が包装紙を外す</p>	<p>装着者が包装紙を外す</p>
診②p.568	<p>画像題名「滅菌ガウンを着用するときの清潔野と不潔野」</p>	<p>滅菌ガウンを装着するときの清潔野と不潔野</p>
診②p.568	<p>「滅菌ガウンの清潔野と不潔野」の注釈</p> <p>*滅菌ガウンの清潔野と不潔野に関して、両者ともに本来は清潔ではあるが、着用するうえで区別しやすくするため、本書ではより清潔度の高いガウン表面を清潔野、裏面を不潔野として扱う。</p>	<p>*滅菌ガウンの清潔野と不潔野に関して、両者ともに本来は清潔ではあるが、装着するうえで区別しやすくするため、本書ではより清潔度の高いガウン表面を清潔野、裏面を不潔野として扱う。</p>
診②p.568	<p>「滅菌ガウンの腰ひもの結び方」内の説明文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●腰ひもを結ぶ際、着用者が自ら背中側に手をまわしてひもを結ぶと不潔になるおそれがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●腰ひもを結ぶ際、装着者が自ら背中側に手をまわしてひもを結ぶと不潔になるおそれがある。</li> </ul>
診②p.568	<p>同上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●本書では、介助者と連携した腰ひもの結び方の一例として、介助者に片方の腰ひもを持ってもらい、着用者が1回転する方法を紹介する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本書では、介助者と連携した腰ひもの結び方の一例として、介助者に片方の腰ひもを持ってもらい、装着者が1回転する方法を紹介する。</li> </ul>
診②p.568	<p>「滅菌ガウンの腰ひもの結び方」内の左側イラスト説明文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●着用者が左側の腰ひもをホルダーから外して持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●装着者が左側の腰ひもをホルダーから外して持つ。</li> </ul>
診②p.568	<p>「滅菌ガウンの腰ひもの結び方」内の中央イラスト説明文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●着用者が左回りに1回転することで、右側の腰ひもを身体に巻きつけることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●装着者が左回りに1回転することで、右側の腰ひもを身体に巻きつけることができる。</li> </ul>

診②p.568	「滅菌ガウンの腰ひもの結び方」内の右側イラスト説明文 ●着用者が右側の腰ひものをホルダーから外す。	●装着者が右側の腰ひものをホルダーから外す。
診②p.568	Comment内の説明文 ●介助者と連携した腰ひもの結び方には、介助者が着用者の周りを1周して腰ひものを渡す方法や、介助者が着用者の背後でひもを受け取り、そのまま背後から腰ひものを着用者に渡す方法もある。	●介助者と連携した腰ひもの結び方には、介助者が装着者の周りを1周して腰ひものを渡す方法や、介助者が装着者の背後でひもを受け取り、そのまま背後から腰ひものを装着者に渡す方法もある。
診②p.569	①の説明文 ●周囲の物品に触れないように滅菌ガウンを着用できる場所を確保する。	●周囲の物品に触れないように滅菌ガウンを装着できる場所を確保する。
診②p.569	③の説明文 ●一般的に、サイズが書いてある面が着用者の身体に触れる側となる。	●一般的に、サイズが書いてある面が装着者の身体に触れる側となる。
診②p.569	④の①説明文 ●この際、着用者は介助者と手が触れないように注意する。 ●左襟と左肩ひもは着用者が持って広げたまま	●この際、装着者は介助者と手が触れないように注意する。 ●左襟と左肩ひもは装着者が持って広げたまま
診②p.569	④の①Comment内説明文 ●着用者が指を滑らせて肩ひもの端を持ち、介助者に肩ひもの中央部分を持ってもらうことで、肩ひもを受け渡す方法もある。	●装着者が指を滑らせて肩ひもの端を持ち、介助者に肩ひもの中央部分を持ってもらうことで、肩ひもを受け渡す方法もある。
診②p.569	④の②説明文 ●着用者は、介助者に触れないようにガウンに右腕を通す。袖を通したら、胸の前の位置で保持しておく。	●装着者は、介助者に触れないようにガウンに右腕を通す。袖を通したら、胸の前の位置で保持しておく。
診②p.569	④の③説明文 ●着用者は介助者に触れないようにガウンに左腕を通す。	●装着者は介助者に触れないようにガウンに左腕を通す。
診②p.570	⑥の①イラスト名「着用者から見た様子」	「装着者から見た様子」
診②p.570	⑥の②説明文 ●介助者は腰ひもや着用者の身体に触れないように注意する。	●介助者は腰ひもや装着者の身体に触れないように注意する。
診②p.570	⑥の②イラスト内吹き出し「着用者が持つ部分」	装着者が持つ部分
診②p.571	⑦題名「着用後」	装着後

診②p.571	<p>7のComment内説明文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●今回はガウンを<b>着用</b>する途中で滅菌手袋を装着する方法を紹介しているが、ガウンの<b>着用</b>が完了した後に滅菌手袋を装着する方法もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●今回はガウンを<b>装着</b>する途中で滅菌手袋を装着する方法を紹介しているが、ガウンの<b>装着</b>が完了した後に滅菌手袋を装着する方法もある。</li> </ul>
診②p.571	<p>8の2「ガウンの袖から～」下の画像下に追記</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●手袋・ガウンなどの表面は汚染されているため、<b>脱衣・廃棄の際</b>は表面に触れないよう注意する。</li> </ul>
診②p.571	<p>8の3説明文</p> <p>「●帽子、マスク、手袋なども着用～廃棄する。」下に追記</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●手袋をしたまま触れた<b>包装紙</b>などは<b>感染性廃棄物</b>として廃棄する。</li> </ul>
診②p.571	<p>8の4説明文</p> <p>4<b>衛生学的手洗い</b>を行う。</p>	<p>4<b>消毒薬による手指消毒</b>を行う。</p>
診②p.572	<p>「手順」内の説明文</p> <p>「●袖が邪魔にならないよう～」の次に追記</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>介助者に手袋のサイズ</b>を伝える。</li> </ul>
診②p.572	<p>「手順」内の吹き出し</p> <p>滅菌ガウンを<b>着用</b>している場合、これらの身だしなみはすでに実施済みである。</p>	<p>滅菌ガウンを<b>装着</b>している場合、これらの身だしなみはすでに実施済みである。</p>
診②p.572	<p>「手順」内の項目名「手袋の装着」</p>	<p>滅菌手袋の装着</p>
診②p.572	<p>「手順」内の項目名「手袋の取り外し」</p>	<p>滅菌手袋の取り外し</p>
診②p.572	<p>「補足」内の説明文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●滅菌ガウン・滅菌手袋の着用後は、周囲の物品や衣服、帽子やマスクなどに触れないように注意する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●滅菌ガウン・滅菌手袋の装着後は、周囲の物品や衣服、帽子やマスクなどに触れないように注意する。</li> </ul>
診②p.574	<p>4の1説明文</p> <p>1<b>手袋をはめた左手の4本の指先</b>を右の手袋の折り返し部分の隙間に差しこみ、すくい上げるように持ち上げる。</p>	<p>1<b>滅菌手袋を装着した左の手指</b>を右の手袋の折り返し部分の隙間に差しこみ、すくい上げるように持ち上げる。</p>
診②p.574	<p>6題名「手袋をフィットさせる」</p>	<p>6手袋を<b>確実に</b>フィットさせる</p>
診②p.575	<p>8の5説明文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>また</b>包装紙を廃棄する際、包装紙に汚染がない場合は、<b>非感染性廃棄物</b>として廃棄する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●包装紙を廃棄する際、包装紙に汚染がない場合は、<b>非感染性廃棄物</b>として廃棄する。</li> </ul>
診②p.575	<p>8の5説明文</p> <p>6<b>衛生学的手洗い</b>を行う。</p>	<p>6手袋を廃棄した後に<b>消毒薬による手指消毒</b>を行う。</p>

静脈採血（『vol.2』p.576~p.600）

該当ページ	変更前	変更後
診②p.586	「手順」の「手技に関する事項の確認」内の説明文(②) ②アルコール過敏性を尋ねる。過敏性があれば、 <b>他の</b> 消毒薬に変更する。	②アルコール過敏性を尋ねる。過敏性があれば、 <b>非アルコール性</b> 消毒薬に変更する。
診②p.586	同上(③) ③以前に採血で気分が悪くなったことがないかなど血管迷走神経 <b>反射</b> の既往を尋ねる。	③以前に採血で気分が悪くなったことがないかなど血管迷走神経 <b>反応</b> の既往を尋ねる。
診②p.586	同上(⑥) 患者がリストバンドを装着している場合は、その照合も行う。	患者がリストバンドを装着している場合は、その照合も <b>声を出して</b> 行う。
診②p.586	「採血前の確認事項」の表内の確認事項(③) ③血管迷走神経 <b>反射</b> の既往	③血管迷走神経 <b>反応</b> の既往
診②p.587	「手順」内の説明文 ①手指を消毒し、手袋を左右の手に <b>着用</b> する。	①手指を消毒し、手袋を左右の手に <b>装着</b> する。
診②p.587	同上 ⑨ <b>刺入部</b> をアルコール綿・滅菌ガーゼなどで押さえ、その後患者自身に消毒してもらう。	⑨ <b>抜針部位</b> をアルコール綿・滅菌ガーゼなどで押さえ、その後患者自身に <b>圧迫</b> してもらう。
診②p.588	①の②説明文 ②手指を消毒し、手袋を左右の手に <b>着用</b> する。	②手指を消毒し、手袋を左右の手に <b>装着</b> する。
診②p.588	②の①説明文 ①採血する腕の肘関節を伸展した状態で、採血予定部位から7～10cm程度の中枢側に駆血帯を適切に巻く。	①採血する腕の肘関節を伸展 <b>してもらった</b> 状態で、採血予定部位から7～10cm程度の中枢側に駆血帯を適切に巻く。
診②p.588	③の「注意」内説明文 ● <b>刺入部</b> を中心として円を描くように消毒する。	● <b>穿刺予定部位</b> を中心として円を描くように消毒する。
診②p.588	④の②説明文 ②穿刺 <b>ポイント</b> の数センチ末梢の皮膚を母指で軽く引っ張り、目的とする静脈を固定する。	②穿刺 <b>部位</b> の数センチ末梢の皮膚を母指で軽く引っ張り、目的とする静脈を固定する。
診②p.588	⑤の①説明文 ①翼状針をしっかりと固定する[p. 592].	① <b>逆血が認められたら</b> 、翼状針をしっかりと固定する[p. 592].
診②p.589	⑤の③説明文 ③翼状針の安全装置を用いて採血針を抜き、その後直ちに <b>刺入部</b> をアルコール綿、滅菌ガーゼなどで押さえる。	③翼状針の安全装置を用いて採血針を抜き、その後直ちに <b>抜針部位</b> をアルコール綿、滅菌ガーゼなどで押さえる。

診②p.589	⑥の④説明文 ④刺入部をもまらずに圧迫するように説明し、患者に圧迫してもらう。	④抜針部位をもまらずに圧迫するように説明し、患者に圧迫してもらう。
診②p.594	「手順」の①説明文 ①手指を消毒し、手袋を左右の手に着用する。	①手指を消毒し、手袋を左右の手に装着する。
診②p.594	「手順」の⑨説明文 ⑨刺入部をアルコール綿・滅菌ガーゼなどで押さえ、その後患者自身に消毒してもらう。	⑨抜針部位をアルコール綿・滅菌ガーゼなどで押さえ、その後患者自身に消毒してもらう。
診②p.595	①の②説明文 ②手指を消毒し、手袋を左右の手に着用する。	②手指を消毒し、手袋を左右の手に装着する。
診②p.595	②の①説明文 ①採血する腕の肘関節を伸展した状態で、採血予定部位から7～10cm程度の中枢側に駆血帯を適切に巻く。	①採血する腕の肘関節を伸展してもらった状態で、採血予定部位から7～10cm程度の中枢側に駆血帯を適切に巻く。
診②p.595	③の「注意」内説明文 ●刺入部を中心として円を描くように消毒する。	●穿刺予定部位を中心として円を描くように消毒する。
診②p.595	④の②説明文 ②穿刺ポイントの数センチ末梢の皮膚を母指で軽く引っ張り、目的とする静脈を固定する。	②穿刺部位の数センチ末梢の皮膚を母指で軽く引っ張り、目的とする静脈を固定する。
診②p.595	⑤の①説明文 ①針が動かないようにシリンジをしっかりと固定する。	①逆血が認められたら、針が動かないようにシリンジをしっかりと固定する。
診②p.595	⑤の②説明文 ②シリンジ内への血液の流入を確かめる。	②シリンダーを引き、シリンジ内への血液の流入を確かめる。
診②p.595	⑤の③④説明文の順序入れ替え ③目的の量を採取する。→④採血中、患者に気分が悪くないか、手指の痛みやしびれがないかを声をかけて確認する。	③採血中、患者に気分が悪くないか、手指の痛みやしびれがないかを声をかけて確認する。 →④目的の量を採取する。
診②p.596	⑥の③説明文 ③採血針を抜き、その後直ちに刺入部をアルコール綿、滅菌ガーゼなどで押さえる。	③採血針を抜き、その後直ちに抜針部位をアルコール綿、滅菌ガーゼなどで押さえる。
診②p.596	⑥の④説明文 ④刺入部をもまらずに圧迫するように説明し、患者に圧迫してもらう。	④抜針部位をもまらずに圧迫するように説明し、患者に圧迫してもらう。
診②p.596	⑦の①説明文 ①シリンジを分注用器具(ホルダー)に接続する。	①シリンジを分注用器具に接続する。

診②p.596	<p>⑦の③説明文</p> <p>⑥分注用器具(ホルダー)から採血管を抜き、直ちに採血管を5回ほど転倒混和する。この際、血液を泡立てないよう穏やかにを行い、採血管を採血管立てに戻す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>分注用器具(ホルダー)とシリンジは接続させたまま、シャープス・コンテナに廃棄する。</li> </ul>	<p>③分注用器具から採血管を抜き、直ちに採血管を5回ほど転倒混和する。この際、血液を泡立てないよう穏やかにを行い、採血管を採血管立てに戻す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>分注用器具とシリンジは接続させたまま、シャープス・コンテナに廃棄する。</li> </ul>
診②p.597	<p>「直針・シリンジの持ち方」内のタイトル横説明文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>針先が動くとき血管外にずれて血液が吸引できなくなるばかりか、患者に苦痛を与えてしまうので、しっかり針先を固定する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>針先が動くとき血管外にずれて血液が採取できなくなるばかりか、患者に苦痛を与えてしまうので、しっかり針先を固定する必要がある。</li> </ul>
診②p.597	<p>同上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>シリンジを持ち替えて吸引する方法と、持ち替えずにそのまま吸引する方法とがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>シリンジを持ち替えて採取する方法と、持ち替えずにそのまま採取する方法とがある。</li> </ul>
診②p.597	<p>「血液の吸引時の注意点」内のタイトル横説明文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>吸引の際には、シリンジを早く引きすぎないように注意する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>吸引の際には、シリンダーを早く引きすぎないように注意する。</li> </ul>
診②p.597	<p>同上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>シリンジを早く引きすぎると、溶血を起こしカリウムやLDHなどの検査値が実際よりも高くなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>シリンダーを早く引きすぎると、溶血を起こしカリウムやLDHなどの検査値が実際よりも高くなる。</li> </ul>
診②p.597	<p>同上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>細い血管から採血する際には、大きなシリンジは用いない。大きなシリンジを用いると血管内に強い陰圧がかかり、溶血や、針の切り口に血管内皮が付着して吸引できなくなる可能性がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>細い血管から採血する際には、大きなシリンジは用いない。大きなシリンジを用いると血管内に強い陰圧がかかり、溶血や、針の切り口に血管内皮が付着して採取できなくなる可能性がある。</li> </ul>
診②p.597	<p>「血液の吸引時の注意点」内左イラスト説明文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>早くシリンジを引くと溶血してしまう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>早くシリンダーを引くと溶血してしまう。</li> </ul>

## 持続的導尿(『vol.2』p.602~p.618)

該当ページ	変更前	変更後
診②p.609	<p>②の①説明文</p> <p>①衛生的な手洗いをし、滅菌手袋を着用する。</p>	<p>①衛生的な手洗いをし、滅菌手袋を装着する。</p>

## 心電図測定(『vol.2』p.620~p.631)

該当ページ	変更前	変更後
診②p.626	<p>②の③説明文</p> <p>③患者のアルコール過敏性を確認し、適切な消毒薬を用いて電極装着面の皮脂を拭き取る。</p>	<p>③患者のアルコール過敏性を確認し、過敏性があれば、非アルコール性消毒薬を用いて電極装着面の皮脂を消毒綿で拭き取る。</p>
診②p.627	<p>④の⑥「注意！」内の説明文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●隣り合う電極が接触しないように注意する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●隣接する電極および電極用ペーストが接合しないよう注意する。</li> </ul>
診②p.627	<p>⑥の②説明文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●電極を外す際には患者に声かけを行い、疼痛に配慮して丁寧に外す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電極を外す際には患者に声かけを行い、疼痛や不快感に配慮して丁寧に外す。</li> </ul>